再生可能エネルギーで地域の遺産を未来へつなぐ

地域の石を使った発電所建屋

インドネシア製水車

＜概要＞

- 事業実施主体：大人（おおひと）発電農業協同組合
  （宮崎県日之影町）
- 発 電 設 備：小水力発電
  発電出力　49.9kW
  発電電力量　約32万kWh/年
- 建　設　費：9,600万円
- 運転開始時期：平成29年11月

＜特徴＞

- 近隣の町村とともに平成27年に世界農業遺産に認定。町内には明治時代から維持されている農業用水路がある。
- 再生可能エネルギーを活用した町おこしに向けて、地域で小水力発電所を建設。事業費は補助金を活用しつつ、残額は日本政策金融公庫と宮崎銀行との協調融資および自己資金で対応。
- 水車をインドネシアから輸入し、除塵機を自作することで、発電設備のコストの削減に成功。
- 売電収益は農業用水路の維持管理、公民館活動の支援、伝統芸能の維持に活用予定。電気小売事業者と協力し、電気の地産地消にも取り組んでいく。

※農山漁村活性化再生可能エネルギー総合推進事業(H25、H26)において発電事業構想の作成等を支援

Copyright 2018 Food Industry Affairs Bureau.　Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.